

蜷川龍夫 （ひづりみづ） 倫理學者。明治九年富山縣生れ（一八七六）。號石水  
 迂人、また翠軒の號を以て（明治二十九年創刊の文藝雜誌『新聲』に投  
 稿。二十七年東京帝國大學文科大學漢文學科卒。卒業後一年志願兵と  
 して近衛師團に入營。のち富山高等學校校長、大谷派教習部長等を歴  
 任。

著書 『孔夫子傳』（明治二十七年十一月十五日文明堂）、『白蓮聖人  
 傳』（菊地松岡年著、明治二十八年四月十日文明堂・木長崎次郎「教  
 界偉人叢書」）、『日本武士道史』（明治四十年六月八日博文館）、  
 『京極觀』（公著、明治四十四年四月二十五日京都・小笠原秀實編  
 刊）、『武士道精神』（公著・武士道學會編、昭和十六年十一月十  
 一日帝國書局出版）等。

